



正副会長の活動状況

— 会務報告 —

日本弁理士会 副会長

須藤 浩

本年度副会長の須藤浩と申します。4月に本年度役員会がスタートして3か月が経過しました。4月に委員会や附属機関が立ち上がり、5月には定期総会が開催され、6月は各支部廻りで全国を訪れるなど、就任以来充実した日々を過ごしております。

以下、私が担当させていただいております委員会等の活動内容について簡単に説明させていただきます。

・中国支部

4月に広島県と知財支援協定を締結しました。また、現在の支部室が入っているビルの取り壊し決定に伴い、7月末に移転することが決定し、8月から新支部室にて業務が行われることになっています。

・九州支部

4月14日(木)以降に発生した「平成28年熊本地震」は、熊本県・大分県を中心に各地で甚大な被害をもたらし、会員及び会員の事務所も被害に遭われました。会員の皆様には、救済募金にご協力いただき感謝しております。皆様からいただいた救援金は、被害地域におられます支部会員の皆様、熊本県、大分県に直接お渡しいたします。7月後半には、熊本県庁と大分県庁を訪問する予定となっています。

・知的財産支援センター

例年通り、小学校、中学校、高等学校、高専、大学に対する教育支援や、中小企業に対する各種支援などを行っております。

教育支援、中小企業支援、ともに国の重要政策でも

あり、知的財産支援センターは重要な役割を担っております。

・広報センター

日本弁理士会ホームページの管理、マスコミ対応、パテントアトニーやパテント誌の発行など広報活動全般を行っております。

6月に弁理士法違反容疑の逮捕者が出ましたが、その際にはマスコミ7社からの電話取材がありました。

本年度は、テレビでのミニ番組、ラジオ放送を使った広報活動を行う予定にしております。

また、広報顧問に参加していただき、広報活動の内容を充実させていこうと考えております。

さらに、ホームページの全面改修を行う予定にしております。来年4月のスタートに向けて準備を進めているところです。

・知財経営コンサルティング委員会

コンサルティングの研究や研修の企画・実行を担う委員会です。昨年度からは、これまでの研究成果を生かし、弁理士知財キャラバンの支援員を養成する研修を実施しています。今年度は、第3クールが実施されます。また、支援員のスキルをさらにアップさせるべく、フォローアップ研修を開催します。

・中小企業支援統括本部

伊丹会長を本部長とし、担当副会長である私と知的財産支援センター長の松浦先生を副本部長として、キャラバン統合ワーキンググループなど、中小企業の

支援活動を統括する組織です。

・キャラバン統合ワーキンググループ

弁理士知財キャラバン事業を機動的に推進するワーキンググループです。昨年度にしっかりと準備をしていただいたお蔭もあり、本年度に入って申請件数が急増しています。

しかしながら、主なターゲットである知財に興味のない中小企業の経営者の方々にはまだまだ知られていないのが現状です。

広報センターでの広報活動と連携して、弁理士知財キャラバン事業を成功させたいと考えております。

会員の皆様には、今後ともご協力をお願い申し上げます。

・知的財産経営センター設立準備ワーキンググループ

日本弁理士会では、これまで様々な機関で中小企業の知財経営支援を行ってきておりますが、活動内容が重複していたり、活動領域が複数の組織に分散してい

たりするのが現状であると考えられます。

そこで、中小企業支援に関わる各組織を、中小企業に対する知財経営支援を総合的に実施できる1つの機関にまとめて、各種の支援要請に対応できる組織にしようと考えております。

本件につきましては、会員の皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと考えているところです。

・結び

私の担当を見ておわかりかと思いますが、弁理士知財キャラバン事業に関連する組織を一手に引き受けております。重要事業をおまかせいただいていることもあってか、あっという間の3か月でした。3か月が経過しましたが、各組織の皆様のご協力・ご尽力のお蔭でこれまで順調に來ていると感じています。弁理士知財キャラバン事業は全国規模での事業ですので、広く会員の皆様のご協力が必要です。皆様のご意見を運用に取り入れながら、最後までやり切りますので、今後ともよろしくご協力申し上げます。